



# ちよだジョブコーチャージャーナル

## 働くことを応援する

No. 65

～お互いを認め、サポートし合いながら安心できる場所で働く～



●左から柏原さん、仲川さん、笹川さん、松山さん



●松山さんが使うレシート入れ  
笹川さん、仲川さんの思いやりで松山さんの好きな紫とそばろ井の  
写真が使われ、レシートを進んで入れたくなる箱になっています。

## YORISOU 社会保険労務士法人

### ●「日本一幸せにします」

これは、YORISOU 社会保険労務士法人の代表の松山さんが、障害者雇用枠で受け入れる笹川さんと仲川さんに最初に伝えた言葉です。法定雇用率の対象ではない社会保険労務士事務所がなぜ障害者雇用を行っているのか、そのルーツは松山さんの職歴にありました。元々都内の大きな社会福祉法人の事務として仕事をしてきたため、障害のある方が身近であり、「働く」は“生きる力”であることを目の当たりにしてきたことが一つのきっかけでした。

### ● 生きること、働くことを応援したい

YORISOU 社会保険労務士法人は、社会保険労務士として企業顧問と個人の障害年金の手続き支援を行っています。企業からは小さなことの積み重ねの結果、解雇せざるを得ない状態での相談がほとんどで人に関するマイナスな悩みが多く、就業規則や法令、タイムカードなど「モノ」を見てしまっている印象を受けました。そこで松山さんはスタッフに企業の労務相談を受ける中で企業の中で起こっていることを肌で感じたら、伝えたい思いが言葉に乗り、企業への助言の内容や温度感が変わるのではないかと考えたそうです。まず1人5日間の実習をトータルで30名以上を受け入れましたが、スタッフも実習生も「うまく乗り切れてしまう」日数で「調子が崩れた時の対処法」がわかりませんでした。しかし、雇用をするということは長期間共に仕事をするということです。業務や、プライベート、自分の心身の体調管理についてなど、安定して仕事をしていくには様々な課題が絡み合っています。一緒に働く障害のある方が調子を崩した時、どう関わっていけばよいかをスタッフと一緒に経験したい、その人の生きること、働くことを応援したいという気持ちが障害者雇用への後押しとなりました。

その中で、いつもと違う行動、パニックなどの対応は机上の理論では導けないということがわかったと話されます。実習中にパニックになった際、環境を変え、落ち着くことができましたが、「ゆっくりやっていいよ。」と声掛けするができなかったことがありました。いつもと違うと感じ取れるか、本人がこちら側の声を聞ける準備があるか、ということに注目していく必要があります。パニックになっていても心があり、本人は考えがあります。止めたくても止められない辛さがあると知っていること、休むことも時には必要だが、本人の「仕事をしたい」という気持ちに寄り添うこと、なぜできないのかと叱責するのではなく、何か問題の裏にあったのではないかと想像することが大切です。障害の特徴とその人の人柄を分けて考え、一人の大人として接することが問題解決の近道です。障害者雇用をきっかけに多角的な視点を持ち、思考が豊かになります。お互いを認め合い、サポートし合える温かい組織作りにつながるのではないかと思います。松山さんは話されます。

### ● スタッフインタビュー

当事者の笹川さん、仲川さんへインタビューを行いました。お2人がまず口を揃えて話されたことは「『ありがとう』を日常的に言われるあたったかい会社」ということでした。安心できる居場所になったことが、のびのびと仕事のできる秘訣であると感じました。また、入社して印象的だったことにお2人とも挙げられたことは「交換日記を入社後3カ月間スタッフと行った」ことです。笹川さんは「ノートに1ページくらい書いたら、同じ量を返事で返してくれたことがうれしかった」、仲川さんは「仲間として迎え入れてくれたと感じた」と話されていました。

### ○ 笹川さんの仕事と今後の展望

現在の業務は、障害年金事務の補助とチラシ作成などの広報業務です。デザイン、イラスト作成が得意という強みを生かして、チラシを

作成しています。要約が得意なので、限られた紙面に必要事項を入れて作成したチラシを褒められたら、達成感があるとはにかんで話されました。現在、発達障害の障害特性や配慮事項をイラストにして可視化する作業を行っています。そのイラストを使って発達障害の啓発活動を行いたいと話されました。ネット公開や冊子を作成し配布するなど、今後の活躍が期待されるお話をお聞きできました。

#### ○仲川さんの仕事と今後の展望

現在の業務は総務と経理業務です。経理は金銭を扱うため、「信頼する人に任せたい」と松山さんに言われたそうです。自分には誇れる能力があるわけではないが、人柄を見て、任せてくれます。今まで自己否定をしてきたが、YORISOU が自分の居場所だと思えるので一生懸命仕事に取り組みます。経理業務でレシート一つとっても、金銭を使った経緯を教えるため、金額の裏にもストーリーがあることを覚え、丁寧に帳簿をつけようと心がけていると話されました。また、業務に対してアイデアを出したとき、絶対に否定せず、「いいね!」と言ってくださり、日常的に安心して業務に取り組んでいます。苦しい時は視野が狭くなっていくが、自分たちも環境の中にいる構成員であるから、自分で自分を“できないやつ”と決めつけたくないと思っていますという言葉が印象的でした。まずは目の前の1つ1つの業務を丁寧にやっていきたいと話されていました。

#### ●取材を終えて

障害者雇用をしていて気づいたこと、それは障害者と一緒に働く柔軟になれる、誰かのためにやるという視点が変わる、多角的視点で見られ、思考が豊かになると話されていたのが印象的でした。“あったかい職場”と笹川さんと仲川さんがお話しされる通り、あたたかい雰囲気でも迎えてくださり、社名の通り「寄り添う」チームであると感じました。また、仕事をしやすくなる細やかな工夫がなされている職場でした。その工夫の多くは当事者のお2人が作られたものです。誰もが使いやすくなる工夫は相手を考える気遣いによって生まれるのだとひしひしと感じました。

障害者雇用は企業が目指す姿を作っていけるという熱い思いが少しでも皆様に伝わってほしい、と強く願っています。

(インタビュー / 構成: 佐藤 美津紀)



**YORISOU**  
社会保険労務士法人

#### 【会社概要】

YORISOU 社会労務士法人

所在: 〒164-0003

東京都中野区東中野 1-53-11 パークハウス東中野 2F

企業の人事労務相談顧問、障害年金や各種助成金等の申請支援を行っています。

企業と当事者の声を聞き、障害者雇用のアドバイザーも行っています。

<https://www.yorisou.jp/>

## EVENT × NEWS

### 令和6年度第1回地域交流会 障害のある方の「働く」を考える ～高次脳機能障害と歩むリスタート～

- 牧田総合病院 田中 由紀 氏
- 東京海上日動あんしん生命保険株式会社  
人事総務部 吉川 英理子 氏 同会社で働く当事者の方
- 脳卒中・身体障害専門就労支援センター「リハス」  
センター長 高橋 則行 氏 サービス管理責任者 大橋 綾菜 氏



講演は2部構成で行い、1部では田中氏より「高次脳機能障害は脳のネットワーク機能の損傷による障害である」と脳画像や、受傷から社会復帰まで、本人との関わり方、新しいキャリアで活躍している方の事例をもとにお話しいただきました。2部では障害者雇用の取り組みについて吉川氏より、現在の採用方法や障害の適性に合わせた配置を検討し、定期面談やジョブコーチ、産業医等が一体となり定着支援を行っていることを伺えました。最後のパネルディスカッションでは、当事者の方や高橋氏・大橋氏が登壇し、失語症を抱えながらも移行支援を活用して自分の障害を理解し、グループワークでは積極的にコミュニケーションをとることを心掛け、多くの仲間たちと困難を乗り越えて採用に至った経緯についてお話いただきました。さらに、現在の日々の業務での活躍されている様子も職場や当事者から直接聞くことができ、とても内容の濃い交流会となりました。

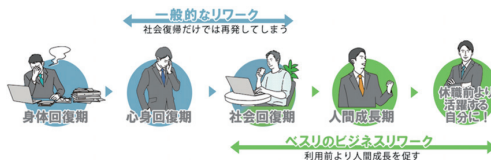
### 千代田区就労移行支援事業所 ベスリ就労支援センター ～休む前よりも活躍できるリワーク～



ベスリ就労支援センターは、一般就労中にメンタル不調となり休職または離職しているビジネスパーソンを対象に社会復帰(復職や転職)のための支援を行っています。メンタルヘルスで休職した場合、回復して復帰しても再発するリスクが高くなってしまいます。我々はこれまでの働き方を見直し、より良い働き方を見つけること、「人間的な成長を目的」としてリワークを実施しています。特にビジネスシーンを想定したプログラムを実施しており、心療内科医、心理士、産業医、産業保健師、企業の総務人事経験者など様々な立場を経験したスタッフが、単に職場復帰するだけでなく、「休む前よりも活躍できる」ように支援します!

#### 【ベスリのリワークの特徴】

通常のリワークよりも「短時間での職場復帰」を目指し、2カ月で1クールのプログラムを実施し、休職に至った経緯の振り返りと再発防止策の作成を行い、参加者の前でプレゼンテーションを行うことでより実践的なトレーニングを行います。



住所: 東京都千代田区神田松永町 104TSKビル 3F <https://biz-rework.jp/>

お問合せ: 月～金 9:00～17:00 TEL 03-5577-6452

最寄駅: JR神田駅西口から徒歩8分、東京メトロ千代田線大手町駅C2出口から徒歩4分



## 就労支援のお問い合わせ

電話: 03-3264-2153 FAX: 03-3556-1223

E-mail: [chiyoda.syroushien@city.chiyoda.lg.jp](mailto:chiyoda.syroushien@city.chiyoda.lg.jp)

発行: 千代田区障害者就労支援センター 第65号 (2024年10月8日発行)

取材協力: YORISOU 社会保険労務士法人

毎回、働く障害のある方やその職場を紹介していきます。次号もご期待下さい。